

## 第5学年 体育科学習指導案

活動日 平成14年2月16日  
 授業者 田中一尋  
 活動場所 体育館(2階)

### 1. 単元名 表現運動「火山の爆発」 (全5時間)

### 2. 単元について

本単元では、火山の爆発のビデオを見ることで、爆発の激しさと溶岩の粘りのある流れを感じ取り、体を使って表現していくことがねらいである。激しさは、体を大きく使うとともにすばやい動きで表現し、粘りのある流れは、ゆっくりとしたうねりのある動きで表現することが大切である。

児童は、「働く機械」「ドライアイス」の学習を通して、素材の特徴をとらえる方法が分かり、とらえた特徴にこだわり体を大きく使って表現することができるようになった。また、グループの中でお互いに相談しながら、一つの作品を作りあげていくことができるようになった。

そこで、本単元では、よりテーマに合った動きをするために、素材の特徴を指先、足先、髪の毛まで意識して表現することなどをグループで相談させたい。

### 3. 願う子どもの姿

<運動> 火山の爆発と溶岩の流れるようすを、人の組み合わせや体の動きの変化で表すことができる。

<集団> よい作品に向けて、お互いに意見を出したり協力して活動したりすることができる。

### 4. 研究内容との関わり

**研究内容 に関わって** (基礎・基本を確立するための、情報教育カリキュラムにのった単元指導計画の在り方)

本単元の基礎・基本とは、火山の爆発を激しい大きな動きで表したり、溶岩の粘る流れをゆっくりとしたうねりような動きで表現できたりすることである。これを身につけるために、表現の仕方の例をデータベースにまとめた情報コンテンツを用意する。そして、動き見つけや踊りづくりの時に必要に応じて見ることができるよう単元の最初に位置づける。

**研究内容 に関わって** (基礎・基本の力をつける学習活動の在り方)

基礎・基本になる動きを身につけていくために、踊りづくりで参考になるデータベースの他に、グループ内でお互いの動きを見合ったり、兄弟グループでお互いの踊りを見合ったりする時間を設定する。このことで、自分達の動きが素材の特徴を生かした動きになっているかどうか、他者から見た目で評価してもらい自分たちの踊りを振り返るようにする。

**研究内容 に関わって** (基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方)

自分たちの踊りがイメージしたもの一致しているかどうかを確かめるために、踊りをビデオで撮って鑑賞し、動きや隊形などを振り返る場を設ける。このことで、自分たちの持っているイメージに動きを近づけていくことができると考えた。

### 5. 単元指導計画

		ね ら い	主 な 学 習 活 動	自ら学ぶ姿の育成
第 一 次	1	・火山の爆発する様子や感じをとらえ 表したいことを決めることができる。	・火山の爆発の様子や感じを話し合い、テーマと3つの場面の大筋を決める。	・一人一人が自分の考えを持つことができる。
第 二 次	本 時 4	・火山の感じが出る動きを見つ けることができる。 ・動き、空間、リズムに変化を 付けて作品の中心を盛り上げ る工夫ができる。 ・火山の感じがより出るように 踊ることができる。	・班で話し合い、テーマにあった動き を決める。また、中心になる踊りが盛 り上がるように作る。 ・「はじめ」と「おわり」の動きを決め、 兄弟グループで見合って中心が盛り 上がるように工夫する。 ・グループで息が合うまで、繰り返し 踊る。	・一人で踊り、3つ以上の 動きを見つめることが できる。 ・兄弟グループで見合っ て、自分たちの踊りを修 正することができる。 ・自分たちの動きをビデオ を見て、修正することが できる。
第 三 次	5	・火山の爆発する様子や感じが 分かるように踊ることができ る	・グループごとに発表し、アンコール 作品、個人賞を決める。	・どのグループの発表か らもよさを見つめるこ とができる。

6. 本時の目標 ( 2 / 5 )

- <運動> 火山が爆発する様子は激しい動きで表現するとよいことに気づき、中心になる部分が盛り上がる踊りを作ることができる。
- <集団> 進んで自分の考えや思いを言うことができ、お互いに相談して一つの作品を作り上げていくことができる。

7. 本時の評価規準

技能	・火山が爆発する激しい動きを見つけられることができる。また、動きを決めるのに役立つ意見をお互いに言うことができる。
----	---

8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって 資料 評価 支援
つかむ	<p>1. 準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーの指示に従って、グループでまとまって体操をする。</li> </ul> <p>2. 本時の課題が分かる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>火山が爆発する激しい動きを見つけ、中心になる部分が盛り上がる踊りを作ろう。</p> </div>	<p>表現の仕方の例をまとめたデータベース</p> <p>火山の噴火のビデオ</p>
ふかめる	<p>3. グループ毎に計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで表現したい動きやめあてを確認する。</li> </ul> <p>4. 動きを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・爆発する激しい動きで短く繰り返すことのできる動きを、一人3つ以上見つける。</li> <li>・一人踊りで見つけた動きを班で出し合い、テーマにあった動きを決める。</li> </ul>	<p>爆発する激しい動きを、3つ以上見つけることができたか。</p> <p>テーマを再度意識させたり、リズムを意識させたり、データベース、火山のビデオを活用したりするように働きかける。</p>
まとめる	<p>5. 踊りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・爆発する激しさが表れるように、中心になる動きをグループで相談しながら作る。</li> <li>・溶岩の粘りのある動きとの違いを意識し、動きの大きさや高さを工夫して作る。</li> <li>・盛り上がりのあるグループを見て、爆発の激しさのタイミングや方向などの工夫を見つけ、自分たちのグループに取り入れていく。</li> </ul> <p>6. グループ毎に反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで表したい動きにそって反省する。</li> </ul> <p>7. 全体でまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時、中心になる部分を盛り上げる踊りを作ったグループを紹介し、認め合う。</li> <li>・次の時間の見通しを持つ。</li> </ul>	<p>中心になる部分が盛り上がる踊りを作ることができたか。</p> <p>代表グループの動きから、激しさのタイミングや方向などを思い起こさせる。</p>